

はじめに、第1の柱

『多様で活力ある産業づくり』についてであります。

産業振興につきましては、市政発展の重要課題と位置づけ、積極的に取り組んでまいります。

コロナ禍の影響により停滞していた**市内の経済活動**につきましては、物価高騰の影響など、事業者を取り巻く環境は依然として厳しい状況にありますが、山陰道の開通により、新たなビジネスチャンスが生まれることを期待しています。引き続き、商工団体などの関係機関と連携し、経営継続の支援体制を強化するとともに、空き店舗などを活用した起業・創業支援の拡充や、本市の豊かな地域資源を活用した商品開発、市外への販路開拓・拡大に対する補助など、積極的な事業展開を図る事業者への支援を行ってまいります。

観光につきましては、国内旅行客、訪日外国人旅行客とも回復傾向にあり、コロナ禍前の賑わいを取り戻しつつあります。文化や歴史、自然を感じる体験型旅行への観光需要の高まりを取り込み、「大田市新観光振興計画」に掲げる観光消費額の増加など、市内の経済循環にこだわった取り組みを進めてまいります。

三瓶地域では、西の原、北の原、東の原及び志学において、それぞれ特色ある資源を活用する民間事業者間の連携・連動を促進するとともに、三瓶温泉の安定供給に努め、地域全体を巻き込んだ観光地域づくりに取り組んでまいります。

石見銀山地域では、9月からJR西日本の**豪華寝台列車「TWILIGHT EXPRESS（トワイライトエクスプレス）瑞風**」の立ち寄り地となることが予定されており、大森の町並みを瑞風の乗客の皆さんに楽しんでいただけるよう、地域をあげて、受入れ態勢を整えてまいります。

温泉津地域では、近年、民間事業者が連携して取り組まれた温泉津温泉街の高付加価値化により、旅行者からの評価が高まっております。今後、さらに効果が発揮されるよう、地域と連携しながら誘客宣伝に努めてまいります。

日本遺産「石見の火山が伝える悠久の歴史」につきましては、昨年12月にシンポジウムを開催し、日本遺産の活用について様々なご意見を頂きました。引き続き、火山活動のストーリーにまつわる22の構成文化財を活かした地域の取り組みを支援し、地域活性化に努めてまいります。

「神々や鬼たちが躍動する神話の世界」につきましても、共同申請した石見9市町や島根県、島根県観光連盟などと連携し、石見地域における連帯感の醸成や観光誘客に取り組んでまいります。

農林水産業につきましては、「稼ぐ農林水産業」の推進による生産者の所得向上を図る取り組みを進めてまいります。

農業では、農地整備事業を契機とした農業経営の複合化を推進するとともに、スマート農業などの技術を活用し、生産者の負担軽減や省力化を図り、産地としての競争力の向上に努めてまいります。また、従来からの推進品目であるぶどうとキャベツのほか、産地化を進める白ネギ、アスパラガス、ミニトマトについて、生産基盤の強化に向けた取り組みを支援するとともに、大手ECサイトと連携した販路を通じ、大田市産農産物の認知度向上や生産者の所得向上を図ってまいります。

あわせて、有機農産物の生産拡大を図るため、有機米の販路拡大や生産性向上に係る取り組みを支援するとともに、有機野菜に関しては、楽天農業株式会社をはじめとする農業関連企業と連携し、栽培ノウハウの共有や新たな担い手の確保・育成に繋げてまいります。

畜産業では、国・県の支援制度を活用し、養鶏業の生産基盤の強化を推進するとともに、化学肥料に頼らない循環型農業を推進するため、地域内堆肥の活用など、

耕畜連携を促進してまいります。あわせて、ブランド化に取り組んでおります「石見銀山和牛」については、新たな販路の確保と改良促進を図る中で、生産者の所得向上に結び付けてまいります。

また、飼料価格などの生産コストが高騰する中で、自給飼料の確保に対する取り組みを進めるとともに、島根県の実施する飼料価格高騰対策への上乗せ支援を行い、影響の緩和を図ってまいります。

林業・木材産業では、森林情報のデジタル化技術を導入し、新たに得られる詳細な情報をもとに、森林の集約化を進めてまいります。また、森林環境譲与税を活用した路網整備などにより、効率的かつ効果的に原木生産の拡大を推進するとともに、製材設備の導入支援、市産木材の利用促進により、循環型林業を推進し、二酸化炭素の吸収など、森林が有する多面的機能の維持・増進を図ってまいります。

水産業では、新規就業者の初期投資の軽減や、漁業への定着を図るため、給付金制度などによる支援を継続するとともに、新たな魚種の放流など、就業者の所得向上につながる取り組みを支援し、沿岸の自営漁業者が安定した経営を実現できる環境を整えてまいります。また、和江漁港を中心とした市場機能の効率化や、漁船が水揚げしやすい漁港環境整備について、漁業者や関係機関と協議してまいります。

生産基盤の整備では、集落ごとに策定を進める地域計画に基づく担い手への農地集積や、高収益作物の導入に積極的に取り組む農地整備事業を優先的に実施するとともに、ため池や排水施設の改修、防災・減災対策による安定した生産基盤の確保を図ってまいります。また、地域共同による地域資源の保全や鳥獣被害対策など、集落機能の強化について、引き続き、支援してまいります。

企業誘致につきましては、テレワークなどの多様な働き方の普及により、企業の地方進出や、働き方に関する意識や行動の変容が見られることを踏まえ、地方で働く場の創出を目的として、民間事業者が実施する**サテライトオフィス**の整備を支援

し、2月に竣工を迎えたところです。事業者と連携して、入居者や利用者の誘致活動を進めるとともに、サテライトオフィスを利用する進出企業と地元企業が連携して行う事業へ支援することで、進出企業の定着及び地域活性化を図ってまいります。また、こうした地方へ向けた企業や人の新たな流れが生まれていることを好機ととらえ、よりいっそう、IT系企業・人材の誘致に取り組んでまいります。

人材育成につきましては、若手後継者・経営者を対象とした「おおだ未来創造塾」において、第一線で活躍する経営者や専門家を講師としてお招きし、今後のビジネスモデルや新事業の創出方法などを学びながら、市内企業の異業種交流を図ることで、今後の本市の経済を牽引する人材の育成を推進してまいります。

人材確保につきましては、全国的に有効求人倍率が高水準で推移する中、少子高齢化や人口減少などの影響により、市内企業の人手不足は深刻化しております。昨年12月に締結した島根労働局との雇用対策協定に基づき、関係機関と連携し、若者のUIターン就職の促進など、人材確保に向けた取り組みを強化してまいります。